

3学年通信

Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

3 学年通信 54 号 通算 234 号

2017. 9. 8 (金) +130 点

Dreams Come True 26 2017/09/07 YOKOSHIN

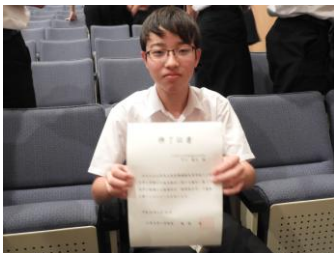
今日は地区新人大会の壮行式がありました。運動部の人は常に登壇していたでしょうから、客席から見る壮行式も新鮮だったかもしれません。私は壇の袖から写真を撮っていたので3年生諸君の様子がよく見えたのですが、「我が子の旅立ちを見守り励ますご両親」のような表情をしていました。そうですね、2年も1年も諸君が手塩にかけて育てた後輩ですもの。その後輩達の「初の公式戦」です。同じ気持ちになってしまうのでしょうかね。それは3年生諸君も私達も同じです。今週末、どのような試合を見せてくれるのでしょうか。楽しみですね。また今回の壮行式が「TA団長、最後の雄姿」となりました。この1年、素晴らしい応援で全校生をリードしてくれたことに感謝します。ありがとうございます。そしてご苦労様でした。君が残してくれたものは後輩達が引き継いでくれることでしょうか。なお、写真のTA君のお隣は、ご存知「ミス興譲館♡」に輝いたSK君ですね。クセにならないようご注意ください？



さて壮行式後に表彰式が行われ、先のインターハイで「女子100m障害 準優勝」に栄冠に輝いたSNさんの特別表彰が行われました。あちこちで一杯褒められたでしょうから、私からは今後の期待を込めて「残念ながら目標としていた日本一になれなかった。きっと何か足りなかったのだ。その原因を分析し、次は必ず日本一になり米興に報告に来て下さい。その日を待っていますヨ」を贈る。SNの成果は素晴らしいと思う。けれど彼女にはもっと大きく成長して欲しいと思うのです。まずは日本一、そしてオリンピックや世界大会で活躍する姿を見たいのです！私と同じように応援してくれている人が日本にも世界にもたくさんいるはず。汚いオッサンに夢を見せて頂戴ね。ヨロシク！



また、山形大学工学部の開放講座を受講し単位を取得した生徒の紹介がありました。理数科1組のHY君がその代表として登壇しました。3年生ではHY君、そして3組のWK君が「確率統計学」、理数科のTMさんとTY君は「高分子物理学」を受講し単位認定されました。大学生向けの授業を受講し、かつ極めて高い評価を頂いたことは本当に素晴らしいと思います。また、その授業は全て夜18時過ぎから始まるものです。つまり4月から8月の間、部活動後に山大に通って受講したのです。単位取得もさることながら、私はこのことは何より尊いことだと思います。2年生も約10名が同様に取得しました。この中には我がホッケー部の生徒もいますので、部活動後に走って山大に向かう後ろ姿に感動していました。その子達は部活も本当に熱心に練習しています。そのように頑張っている仲間がたくさんいて、互いに切磋琢磨する米沢興譲館高校。私は「イイ学校ですよ！」と胸を張って言える。



結びに。今日はセンター試験出願説明会でした。ウエストが3cm位引き締まった人もいないでしょうか。ここから「米興が最も暑い季節」がはじまります。ある先生は「祭の始まりだ！」と言います（熱気があるという意味ヨ）。私は諸君にはこの期間「人生で最も大きく成長した日々」となることを期待しています。その成長とは、「学びの」そして「人としての」成長です。学ぶことは生きることゆえに両者は同値です。「俺はやるぜ！」大きな気概を持って共にがんばろうZ 終

米興の宣伝のようになってきたのですが、もしかしたら中学生諸君が読んでいるかもしれないのでもう少しアピールしようかな？ この夏、2年生の2人が「トビタテ！留学JAPAN」に採用されて2週間海外で学んできました。このうちの1人である男子はニューヨークに行ったのだけれど、帰国直後、即部活に来たからね。1日2日は休んでイイと思っていたのだけれど、学びもホッケーも好きなんだね。ちなみに、文部科学省のこの企画は大学生も応募できるから、3年生諸君で興味のある人は大学合格後にHPチェックしてみるといい。「海外に行きたい」とか「留学したい」という人が増えるといいなと思っています。私は「女性の方が海外への興味が高く」また「実際に行動する」率が高いように感じます（米興OBOGとの話から）。またTVの「こんなトコロになんちゃら」に出る日本人も女性が圧倒的に多いようです。女性に特有の何かしらがあるのでしょうか。ご存知の方は教えて下さい。私は男性もドンドン海外へ出て欲しいと思うし、特に若いときにこそ出るべきだと思う。家猫のような男子に私は魅力を感じませんし、きっと女性もそうだと思います。果敢にチャレンジする姿がカッコイイのですヨ！「モテたいなら海外へ」これがキーワードです？ さて話を戻して（いつもそう笑）。次は東北大学の「科学者の卵」のこと。これはエントリーして採用された高校生が、休日に講義を受講したり実験をする素晴らしい機会なのです。理数科やCSを中心に3年生諸君も参加しました。今週の土曜日は「地区新人大会」なのだけれど、2年生ホッケー部女子は試合が終わってから東北大に行くというのです。東北大の先生は「大会なら欠席仕方無いですね」と言ってくれたのに「午後から行く！」と。このことにも感動するわけです。どちらか1つを選んでもいいのに両方やるっていうのです。凄くないですか？ 何かホッケー部の宣伝のようになってしまったけれどタマタマで、どの部にも部活動も学びも前向きに頑張っている生徒達がいるのです。ですから、私は「米興は何でもできる学校」だと思うのです。先のSNさんも「今度は学びで日本一を目指します！」と宣言してくれています。SNさんもHY君も凄いいけれど、そのような活動の機会があり認めてくれる米興も凄いいと思うのです。ますむらひろしさんも毎日新聞に書いていました。米興時代、先生方から「〇〇するな！」と言われたことが無いと。私もそうでした（実は2回だけあるのです。いつか勇気を出して書きますね？）。何をしても許容してくれました（というか無関心だったのかもしれませんが？）。私はこのような「寛容さ」という米興の伝統を大切にしたいと思うのです。そして、寛容されたがゆえに「自己責任」という意識が自然と芽生え自立していきます。私自身、そう願いながらそのように実践できているのか自問自答があります。時代と共に変わりゆくものと守るべきものの狭間「不易と流行」です。来年度から新たに「探究科」がはじまります。これは米興の大きな転機となるはず。また、この機会に変えていかなければならないものも沢山あります。今、大学入試を目前に控えた諸君を、先生方は「3年生ファースト！」で支援してくれていることは肌で感じていることでしょうか。同時に「次代の米興」に向けての議論が毎日なされていることも知っておいて欲しいと思うのです。今も未来も全て全力投球！の米興教職員。これも凄いいことだと思うのです。卒業後の米興も楽しみにして下さいね。

結びに。今日はセンター試験出願説明会でした。ウエストが3cm位引き締まった人もいないではないでしょうか。ここから「米興が最も暑い季節」がはじまります。ある先生は「祭の始まりだ！」と言います（熱気があるという意味ヨ）。私は諸君にはこの期間「人生で最も大きく成長した日々」となることを期待しています。その成長とは、「学びの」そして「人としての」成長です。学ぶことは生きることゆえに両者は同値です。「俺はやるぜ！」大きな気概を持って共にがんばろうZ 終